

平成28年度版 現代の書写

学習活動の重点化等に資する 年間指導計画参考資料

【中学2年】

この資料は、生徒の学びの保障を目的に、教科書の内容から「学校の授業で取り上げることが必要であると考えられる教材・学習活動」と「学校の授業以外の場での学習が可能であると考えられる教材・学習活動」とに区別して、学習活動の重点化の観点から教材ごとの配当時数、主な学習活動などをご提案するものです。地域や学校の状況に応じてご活用ください。

また、年度末段階で指導できなかった内容を次学年に移すなど、次年度以降を見通した教育課程を編成することも考えられます。その際には、引き継ぎを徹底するなど、ご配慮くださいますようお願いいたします。

令和2年7月

三省堂

【本資料での略称】 関:関心・意欲・態度 知:書写についての知識・理解 技:書写についての技能

青の網掛け : 学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動

赤 囲 み : 感染症対策の観点から指導順序等を変更することが考えられる教材・学習活動

■2年

単元名	ページ	教材名 ●学習目標	時数	おもな学習活動	評価規準B (おおむね満足できる状況)
5 行書を使いこなそう	44 ～ 47	[1]行書の特徴と筆使いを確かめよう ●行書の特徴を理解して、文字や文・文章を書く。	3	1 教科書P44の「再会」に見られる行書の特徴を考え、第1学年の行書の学習を振り返る。また、教科書P46～47を見て、行書の筆使いを確かめる。 2 「再会」を毛筆で試し書きして、「再会」に含まれる行書の特徴を確かめる。 3 「再会」を練習し、最後にまとめ書きをする。 4 前時の試し書きとまとめ書きとを比較しながら、自分の学習課題を確かめる。 5 自分の学習課題を意識しながら「再会」を練習し、最後にまとめ書きをする。 6 毛筆で確かめた学習課題に注意して、教科書P44の硬筆例を練習する。 7 行書の特徴と筆使いを意識して書けたか振り返る。	関 行書の特徴について、第一学年で学習したことを思い出し確かめようとしている。 知 第一学年で学習した行書の特徴「丸み」「筆脈の連続・直接連続」「点画の変化」と筆使いを理解している。 技 行書の特徴と筆使いを意識して、毛筆・硬筆で書いている。
	48 ～ 49	[2]省略・筆順の変化を確かめながら書こう	2	1 教科書P48を見て、点画を省略したり、筆順を変えたりしているのがどの部分か考え、それによって速く書ける理由を考える。 2 「雪花」を毛筆で試し書きし、点画の省略や筆順の変化が起きている部分を確かめる。 3 「雪花」を練習し、最後にまとめ書きをする。 4 前時の試し書きとまとめ書きとを比較しながら、「点画の省略」「筆順の変化」を確かめる。 5 「雪花」を練習し、最後にまとめ書きをする。 6 毛筆で確かめた学習課題に注意して、教科書P48の硬筆例を練習する。 7 点画の省略・筆順の変化を理解して書けたか振り返る。	知 行書では、速く書くために点画を省略したり筆順を変えたりすることがあることを理解している。 技 行書の「点画の省略」「筆順の変化」を確かめながら、毛筆・硬筆で書いている。
	50 ～ 51	[3]学習のまとめ	1	1 「再会」のまとめ書きを見直し、行書の特徴を確認する。 2 教科書P50～51「連続・点画の変化」の部首の書き方を確かめ、練習する。 3 「雪花」のまとめ書きを見直し、行書の特徴を確認する。 4 教科書P50～51「点画の省略」「筆順の変化」の部首の書き方を確かめ、練習する。	関 学習してきたことを生かして書こうとしている。 知 行書の五つの特徴と、行書にはさまざまな字形があることを理解している。 技 学習してきたことを確かめながら、硬筆で書いている。

	52 55	[4]行書に調和する仮名の特徴を見つけよう	3	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科書P52 のAとBとを比較して、異なるところを見つけ、なぜ書き方が異なるか考える。 2 教科書P53 を見て、「に」「れ」「し」が下段に示したどの特徴と呼応するか考える。 3 「空に吸はれし十五の心」を硬筆で書く。 4 教科書P54 の五十音表の中から、行書に調和する仮名の特徴を見つける。 5 小筆の扱い方を確認し、五十音の前半と後半に分けて練習する。 6 行書に調和する仮名の特徴を理解して書けたか振り返る。 	1 時間	<p>知 行書に調和する仮名には、行書と同じような特徴があることを理解している。</p> <p>技 行書に調和する仮名の特徴を意識して、硬筆・毛筆で書いている。</p>
	56 57	[5]文や文章の整え方を確かめよう	2	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科書P56 を見て、上段と下段の硬筆課題の書き方の違いを考える。 2 毛筆で「自然を楽しむ」を試し書きする。 3 「自然を楽しむ」を練習し、最後にまとめ書きする。 4 前時の試し書きとまとめ書きを比較し、学習課題を確かめる。 5 自分の学習課題を意識しながら「自然を楽しむ」を練習し、最後にまとめ書きをする。 6 教科書P56 の①～④を意識しながら、「自然を楽しむ」を硬筆で書く。 7 文字の大小・字間・行の中心・行間を意識して書けたか振り返る。 	1 時間	<p>知 行書と行書に調和する仮名を交えて書くときに、文字の大小・字間・行の中心・行間を意識するとよいことを理解している。</p> <p>技 文字の大小・字間・行の中心・行間を意識して、毛筆・硬筆で書いている。</p>
	58 59	[6]学習のまとめ	1	<ol style="list-style-type: none"> 1 これまでの学習を生かして、教科書P58 の(一)(二)の課題文を、字形例を見ずに硬筆で書く。 2 自分の字と字形例とを見比べて課題を確かめ、(一)(二)のまとめ書きをする。 		<p>関 学習してきたことを生かして書こうとしている。</p> <p>知 スペースに合わせて整った文字群を書くために、文字の大小・字間・行の中心・行間を意識し、仮名を行書に調和させて書くとよいことを理解している。</p> <p>技 学習してきたことを確かめながら、硬筆で書いている。</p>
	59	文章全体を速く書くために		<ol style="list-style-type: none"> 1 教科書P59 を見て、文字から文字へのつながりや、速く書くための工夫について考える。 		<p>関 文字から文字へのつながりについて関心をもっている。</p> <p>知 文章全体を速く読みやすく書くために、文字から文字へのつながりを意識することが大切であることを理解している。</p>
6 生活に生かそう	60 61	手紙を書こう ●今まで学習してきたことを生かして書く。	2	<ol style="list-style-type: none"> 1 手紙の形式を確認し、文章を考える。 2 下書きする。 3 下書きをもとに、清書する。 4 封筒の書き方を確認し、宛名を書く。 <p>※職場体験が中止・延期になった場合には、日頃お世話になっている方(学校・地域・家族など)や、卒業を控えた先輩へのお礼の手紙などに置き換えて実施する。</p>	1 時間	<p>関 学習してきた知識・技能を生かして、手紙の書き方のきまりを意識しながら読みやすく書こうとしている。</p> <p>知 便箋や封筒を書くときのきまりを理解している。</p> <p>技 これまでに学習してきた知識・技能を生かして書いている。</p>
	109 112	書き初め(2年) ●学習してきた知識・技能を生かして書く。	2	<ol style="list-style-type: none"> 1 「燃ゆる思い(行書)」「大望を抱く(楷書)」に、これまでに学習した知識・技能がどのように生かされているか確認する。 2 四つの毛筆課題から一つを選択して、毛筆で書く。 3 2で書いた作品について、問題点とその解決方法を確かめる。 4 確認した点をふまえて、毛筆で練習し、まとめ書きをする。 5 これまでに学習したことを確かめながら仕上げることができたか、振り返る。 	1 時間	<p>関 書きたい課題文字を選び、これまでの書写学習の知識・技能を生かして書こうとしている。</p> <p>知 書き初め用紙に書くときの姿勢や書き進め方とともに、課題文字の特徴を理解している。</p> <p>技 学習してきた技能を生かして、配列を意識して書いている。</p>

7 書体を使い分けよう	62 ～ 64	[1]生活の場面と書体について考えよう	2	1 教科書P62 を見て、①楷書と行書のどちらで書くのがふさわしいか考える。 2 教科書P63 を見て、ア～ウの各場面で書くのにふさわしい書体とその理由を考える。 3 教科書P64 に、P62～63 で選択した書体で、「メモ」と「漢字テストの解答」を実際書いてみる。		関 読み手・目的・状況にふさわしい書体を選択して書こうとしている。 知 読み手・目的・状況を考えて書体を選択するとよいことを理解している。
	65	[2]学習のまとめ		1 身の周りで、楷書や行書で書かれたものを見つける。 2 文字を書く場面や目的に応じて、書体を書き分けることの必要性が理解できたか振り返る。		関 身の周りにある書字例について、なぜその書体で書かれているのかに関心をもっている。 知 身のまわりにある書字例は、読み手・目的・状況を考えて選択されていることを理解している。
8 生活に生かそう	66 ～ 67	座右の銘を書こう	2	1 座右の銘を決める。 2 紙と筆記具を決める。 3 書き方(書体・文字の大きさや書く位置)を決める。 4 下書きをし、意見交流する。 5 4で交流した内容をもとに修正し、清書をする。 6 完成した作品についてグループで感想を交流する。	1 時間	関 学習してきた知識・技能を生かして、自分を励ます座右の銘を書こうとしている。 知 座右の銘のこぼれを効果的に表すために、用紙や筆記具、書体や文字の大きさ、配列を考えるとよいことを理解している。 技 これまでに学習してきた知識・技能を生かして書いている。
	68	(発展)書の名手たち		1 文字の長い歴史の中で、書かれた文字の美しさを見いだす文化が生まれたことを理解する。 2 「風信帖」「九成宮醜泉銘」「継色紙」を鑑賞し、さまざまな書き手によって書かれた文字を味わう。	適宜	関 書かれた文字の美しさを味わうという古くからの文化に関心をもっている。 知 中国の欧陽詢、日本の空海や小野道風らの書いたものが、芸術作品として味わわれてきたことを理解している。

[配当時数] 20 時間

1. 学校の授業で取り上げることが必要であると考えられる教材・学習活動 : 15 時間
2. 学校の授業以外の場で学習が可能であると考えられる教材・学習活動 : 5 時間